

布

ぬの

日本

のしき

子仕事

うつくしき

令和3年[2021年]

7月17日【土】

9月20日【月・祝】



横浜市歴史博物館
Yokohama History Museum

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1

TEL: 045-912-1777

<https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>



開館時間 9:00～16:30(券売は16:00まで)
休館日 月曜日(ただし8月9日、9月20日は開館)、8月10日(火)
企画展 一般1,000円(800円)、高校・大学生700円(560円)、
小・中学生・横浜市内在住65歳以上500円(400円)
常設展共通 一般1,200円(960円)、高校・大学生800円(640円)、
小・中学生・横浜市内在住65歳以上550円(440円)

* 会期中一部展示替えがあります。
* ご来館の際はオンラインによる事前予約(日時指定)をご利用ください。
* ()内は団体20名以上の料金 * 毎週土曜日は、小・中・高校生は無料
* 障がい者及び付添の方は無料 * 補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)とご一緒に入館できます。
主催：公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団、神奈川大学日本常民文化研究所
共催：横浜市教育委員会

* 新型コロナウイルスの感染状況によっては、展示会期等を変更する場合があります。最新の情報は横浜市歴史博物館ホームページまたはお電話にてご確認ください。

展示関連事業

- ❖ 講演会「衣服の禁忌とまじない」
常光 徹氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)
9月12日(日)14:00～15:30
詳細は横浜市歴史博物館ホームページをご覧ください。
- ❖ 神奈川大学エクステンション講座(全3回)
Japanese Folk Textile 日本の布 東北地方を中心に
内容詳細・申し込みは以下へどうぞ。
神奈川大学 生涯学習・エクステンション講座係
E-mail: info@ku-portsquare.jp
TEL: 045-682-5553 FAX: 045-682-5554



布ぬの 日本にっぽんの手仕事うつくしき

展示関連事業

① 講演会「衣服の禁忌とまじない」

常光 徹氏 (国立歴史民俗博物館名誉教授)
9月12日(日) 14:00~15:30
定員: 80名 参加費: 500円 会場: 博物館講堂

② トークセッション「地域創生 西会津と鳥取と」

矢部 佳宏氏
(一般社団法人BOOT代表理事 西会津国際芸術村ディレクター)、
小林 光一郎(横浜市歴史博物館・鳥取県文化財保護審議委員)、
羽田田 智幸(横浜市歴史博物館)
8月28日(土) 13:30~15:30
定員: 80名 参加費: 1000円 会場: 博物館講堂

③ 布にまつわるここだけの話

毎回異なるゲストを迎え、多彩な視点から展示を語るミニ講座です。
① 7月23日(金・祝) ② 9月4日(土)
③ 9月11日(土) ④ 9月18日(土)
時間: いずれも 13:30~14:30
定員: 各回 80名 参加費: 500円 会場: 博物館講堂

④ イブニングギャラリー

閉館後の展示室で、専門家をゲストに迎え、展示を解説します。
① 8月6日(金) ② 8月26日(木)
時間: いずれも 17:00~
定員: 各回 15名 参加費: 2000円

⑤ 会津木綿ハギレワークショップ

7月24日(土) ① 10:30~12:00 ② 13:30~15:00
定員: 各回 12名 参加費: 1500円 会場: 工房

⑥ 型染ワークショップ(万祝染)

8月7日(土) ① 13:20~
8月8日(日) ② 9:20~ ③ 13:20~
定員: 各回 12名 参加費: 1500円 会場: 工房

内容の詳細は横浜市歴史博物館ホームページをご覧ください。

お申し込み方法 ①~⑥は事前申し込み制です。

【ホームページ】6月1日(火)から申し込み開始
イベント申し込みページ「企画展・特別展開関連イベント」
から申し込み画面へお進みください。
携帯電話・スマートフォン・タブレット不可。
(動作保証しておりません)

【往復はがき】

ア. ご希望のイベント名 イ. 郵便番号・住所
ウ. 氏名(ふりがな) エ. 年齢 オ. 電話番号
カ. どこでこのイベントを知ったかを明記のうえ博物館まで。
※往復はがき1通につき1イベント1名まで。

【締切】 ホームページ各日 17:00、往復ハガキ各日必着

① 8/25(水)、② 8/11(水)、③-① 7/7(水)、
③-② 8/18(水)、④-③ 8/25(水)、④-④ 9/1(水)、
④-① 7/21(水)、④-② 8/11(水)、
⑤-①-② 7/7(水)、⑤-①-②-③ 7/21(水)

「原始布織工房・出羽の織座 展示会

「原始布から自然布の世界にあそぶ」
9月9日(木)~9月12日(日) 会場: 博物館研修室

神奈川大学日本常民文化研究所主催 エクステンション講座(オンライン講座)

「Japanese Folk Textile 日本の布 東北地方を中心に」

内容詳細・申し込みは以下へどうぞ。
神奈川大学生涯学習・エクステンション講座係
E-mail: info@ku-portsquare.jp
TEL: 045-682-5553 FAX: 045-682-5554



* 新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、
関連イベントについては変更する場合があります。

リピーター割引

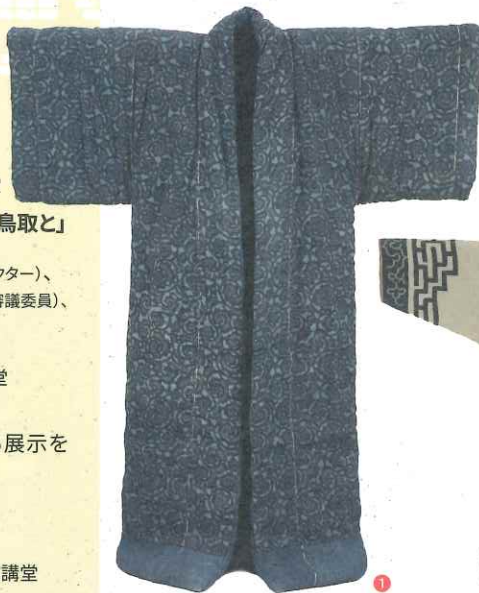
入館時にお渡しするリピーター割引券を、次回来館時に
受付でご提示いただくと、会期中 1 回限り、通常料金の
2 割引きで入館できます。(他の割引と併用はできません。)

日時指定オンラインチケットのご案内

購入・詳細は、博物館ホームページをご確認ください。
事前の購入をおすすめします。

次回展覧会のご案内

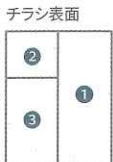
「横浜の大名 武州金沢藩の幕末維新」(仮)
会期: 10月2日(土)~11月23日(火・祝)



東日本大震災から10年を経た今年、東北
地方の豊かな布文化と実用の美を楽しんで
いただけたら幸いです。

人々が日常のくらしで着る衣服は、江戸時代
以降は木綿もめんが、それ以前は様々な草や木が
素材でした。
時間と労力を費やして、草や木から繊維せんいを
とり、糸にして布を織る。その布から仕立て
られた日常の着物には、暖かさや丈夫さといっ
た実用性を高めるため、刺子さしこや型染かたぞめなどの手
仕事の技が施されました。なかでも東北地方で
生まれた「こぎん」や「菱刺ひしざし」の美しさは国内外
で高く評価されています。
神奈川大学日本常民文化研究所と共同で
開催する本展では、日本で伝統的に使われて
きた草木を素材とした布と、主に東北地方で
用られた刺子や型染、また裂織さきおりなどに注目し、
うつくしく、こまやかな手仕事の世界を紹介
します。

裂織さきおり長着 青森市教育委員会所蔵
(青森県指定有形民俗文化財)
こぎん身頃
裂織袖無
神奈川大学日本常民文化研究所所蔵



① 裂織長着 青森市教育委員会所蔵
(青森県指定有形民俗文化財)
② こぎん身頃
③ 裂織袖無
神奈川大学日本常民文化研究所所蔵

① 型染極巻 原始布・古代織参考館所蔵
② アットゥシ 青森市教育委員会所蔵
③ 菱刺前掛(部分)
三沢市教育委員会所蔵
(国指定重要有形民俗文化財)
④ 型染布団
神奈川大学日本常民文化研究所所蔵
⑤ 三縞こぎん
青森市教育委員会所蔵
(青森県指定有形民俗文化財)



横浜市歴史博物館 Yokohama History Museum

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央 1-18-1
Tel: 045-912-7777
<https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>

横浜市営地下鉄「センター北」駅下車
1 番出口から徒歩 5 分
駐車場あり(30分 100円)



横浜市歴史博物館は(公財)横浜市ふるさと歴史財団が指定管理者
として管理・運営しています。